

SHOW HEYシネマルーム

★★★★★

ワイルドシングス

1999 (平成11) 年2月17日鑑賞

Data

監督: ジョン・マクノートン

出演: ケビン・ベーコン/マット・
ディロン/ネーブ・キャンベ
ル/テレサ・ラッセル/デニ
ース・リチャーズ

👁️👁️ みどころ

これは、もう絶対おすすめ。

5 転・6 転のストーリーが読めれば天才。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

<ドندن返しの連続>

これは、もう絶対おすすめ。最初から2人の可愛いハイスクールの女の子が現れ、何がおこるのかと思うと、「レイプ事件」。えらい格好のいい先生が犯人とされるが、変な(?) 弁護士が味方について無罪。つまり、レイプは、少女の嫉妬にかられたデッチ上げだと判明する。なんだ、えらい早い結末だな、と思ったら、そこから2転、3転、4転ではなく、5転、6転・・・。「ええ!」「ええ!」という連続。そしてラストに、タネ明かしの映像が流れてきて、事実の流れを再確認して納得。

真面目か不真面目かよくわからないハイスクールの先生が主役のマット・ディロン。これに2人の小悪魔のような可愛いギャル、ネーブ・キャンベルとデニース・リチャーズがからむ。2人とも可愛いのが、腹の底はわからない。そして「レイプ事件」に、ニヒルな刑事ケビン・ベーコンと、インチキ(?) 弁護士ビル・マーレーが入り込む。よくもこれだけ手のこんだストーリーがつくれるな、と感心するほど面白い作品。超三重丸です。それにしても、女はコワイ・・・。

2001 (平成13) 年9月記